

彦 道 第 429 号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

彦根市長

獅山町



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあったみだしのことについては、別紙のとおりです。

道路は、地域の経済・社会活動を支える最も基礎的かつ重要な社会基盤施設であり、市民の安全で豊かな生活を実現するためには、道路の計画的な整備や維持管理を行うことが重要であります。特に、災害時等における救援活動や応急復旧活動に不可欠な緊急輸送路等については、重点的に整備を推進する必要があります。

しかし、本市域の道路整備状況は、利便性・快適性ともに十分とはいいがたく、地域の活性化を支え、安全で安心な生活を確保するため、整備促進を積極的に推進しなければならない現状にあります。

一方、道路特定財源については、閣議決定で本年の税制抜本改革時に廃止し、平成21年度から一般財源化することとされたところでありますが、必要と判断される道路は着実に整備するとされています。

道路財源の取り扱いについては、広く議論されているところでありますが、本市域の道路整備の実情を踏まえ、着実に道路整備を推進するために平成21年度以降の道路整備予算については、財源を確保されることを強く要望します。

特に、活力ある地域づくりや地域間交流を促進するための道路網の整備を緊急かつ早急に整備するとともに、地方の課題に弾力的に対応する制度である地方道路整備臨時交付金を引き続き存続・拡充させることを併せて要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②－１ 地域の現状と抱える課題

滋賀県彦根市

○現状

昨今の交通事情は物流社会による車の増加に伴い慢性的な交通渋滞が発生し、特に近年ますますその激しさを増し、地域の産業振興等に多大な影響を呈するまでに至り地域の大きな社会問題となっています。

また、整備の十分でない幹線道路が、産業道路と生活道路の両方の機能を担っており、生活者の安全に懸念が生じています。

○課題

市民の安全で豊かな生活を実現するには、計画的な整備と維持管理を行うことが重要であります。

また、都市経営の視点から、安定的な税収と雇用の確保に必要な企業立地を促進するため、幹線道路の整備や既立地企業周辺の道路整備が必要であります。

特に、交通弱者である歩行者、自転車等が安心して通行できる環境の整備に重点を置いた道路整備を促進する必要があります。

本市の将来都市構造のあり方は、「多極集約型都市構造と交通軸の形成」「自然環境の保全と水緑のネットワークの形成」をコンセプトとしています。このことは、彦根駅周辺を中心核（都市核）とし、他の駅周辺は地域拠点、その他歴史、学術文化、福祉、自然緑地地域を各拠点と位置づけ、各拠点を結ぶ交通軸の形成を図り、魅力と活力のある都市像をめざしています。

具体の道路網整備方針は次のとおりです。

- ・広域交通を担う名神高速道路へのアクセス道路の整備を図るとともに、都市間における通過交通を担う主要幹線道路の整備を推進し、近隣都市との連携を図る。
- ・都市核、地域拠点の連携強化を図るための幹線道路や補完する生活道路は優先的に整備を行う。また、歩行者等が安全に移動し、居住環境の向上を図るための道路の整備を進め、安全・安心で快適な道路環境を創出する。
- ・本市域内交通を円滑に処理し、主要幹線道路の補完を行なうため、市域内のネットワークを形成し、地域生活者の移動を担うための交差点改良などの道路整備を行う。
- ・安全・安心で快適なまちづくりを支援するため、歩行者・自転車道のネットワークづくりをする。特に通勤、通学、観光など多くの交通が集中する駅周辺から目的施設へ安全・安心で快適に誘導するネットワークを形成し整備を行なう。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項

様式④

滋賀県彦根市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・都市交通の快適性、利便性の向上 ・少子・高齢化社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成 ・良好な景観の形成	・主要幹線、幹線の整備 (国道8号バイパス、都市計画街路等) ・交通結節点を中心に歩行空間のバリアフリー化とネットワーク化の推進 ・無電柱化の推進	・工場立地等民間活動を支援する。 ・道路渋滞による時間的・経済的損失を軽減する。 ・歩行者、自転車等を安全・安心で快適に目的地まで誘導する。 ・歴史的な街並空間の維持および向上を図る。	